

# 第3回 ANCHOR KOBE ベンチャーピッチ 「アグリテックで未来を変える」

イノベーション創出拠点である「ANCHOR KOBE」で開催されるベンチャーピッチ第3弾。今回は農業×テクノロジーで未来の農業を変えようとするスタートアップが集まりました。オープンイノベーションを通じた地域経済の活性化に取り組みます。

日時 2023年7月11日（火）15:00～17:00（14:40開場）

会場 ANCHOR KOBE（アンカー神戸）  
神戸市中央区加納町4-2-1神戸三宮阪急ビル15階

参加費 無料  
（要事前参加登録）

対象 アンカー神戸会員、神戸商工会議所会員、日本政策金融公庫取引先、一般参加  
（※）会場上限50名（先着順）／会場およびオンライン参加

申込方法 アンカー神戸の公式サイトまたは  
右の二次元コードからお申し込みください。



申込期限 2023年7月4日（火）

## プログラム

15:00 開会挨拶 【神戸新聞社】  
15:05 施策説明「神戸市のスタートアップ支援の取組み」 【神戸市】  
15:15 施策説明「近畿経済産業局のスタートアップ支援の取組み」 【近畿経済産業局】

15:25 スタートアップ5社のプレゼンテーション：各社15分（ピッチ10分・質疑5分）

【登壇スタートアップ】（掲載社名五十音順）

①（株）笑農和

②スパイスキューブ（株）

③（株）農業情報設計社



16:10 休憩（10分）

④（株）マプリー

⑤（株）森久エンジニアリング



16:50 学生起業家によるプレゼンテーション

【ポンス】

17:00 閉会挨拶

【日本政策金融公庫】

17:10～参加者交流・ネットワーキング

主催 JFC 日本政策金融公庫 ANCHOR KOBE 神戸市 神戸商工会議所

協力 SMBC 三井住友銀行 みなと銀行 経済産業省 近畿経済産業局

NOMURA  
野村証券

甲南大学

Ag Venture Lab

＜お問い合わせ先＞アンカー神戸運営事務局（担当：射場・大前）TEL 078-325-1414  
日本政策金融公庫神戸支店中小企業事業（担当：松本・末吉）TEL 078-362-5961

# 登壇企業の概要

企業名	登壇者	事業内容
<p>(株) 笑農和</p> 	<p>代表取締役 下村 豪徳</p>	<p>水資源をDX化し、水田の水管理を遠隔・自動で制御することで、メタンガス抑制を行います。 環境にやさしい持続可能なサステナブル&amp;スマート水田を実現します。</p>
<p>スパイスキューブ (株)</p> 	<p>代表取締役 須貝 翼</p>	<p>一般企業の農業参入を「植物工場ビジネス」で支援します。新規事業を画策する企業に対して、電気と水で野菜をつくる植物工場を活用した農業参入を推奨しています。従来の大型植物工場（数億円投資を伴う）ではなく、低予算かつ小規模植物工場を設計開発します。植物工場建設後には野菜の栽培技術、施設運営、野菜販路開拓まで専門人材を現地派遣し業務支援します。</p>
<p>(株) 農業情報設計社</p> 	<p>代表取締役 濱田 安之</p>	<p>農業者の熟練度によらず、トラクター作業の効率化や資材コスト低減につながるガイダンスナビアプリ「AgriBus-NAVI」を提供しています。世界中の農業者様に支持され、同等アプリ内ダウンロード数は世界トップレベル。高精度な位置情報を可能にする「AgriBus-GMiniR」や自動操舵を実現する「AgriBus-AutoSteer」といったハードウェアも提供し、農家のアグリテック化に貢献しています。</p>
<p>(株) マプリー</p> 	<p>代表取締役 山口 圭司</p>	<p>林業や土木、環境や防災、農業などのDXソリューションとして、GISアプリやリモートセンシングアプリケーション・ハードウェアを提供しております。</p>
<p>(株) 森久エンジニアリング</p> 	<p>代表取締役 森 一生</p>	<p>2001年以降、大型植物工場プラントを秋田県から沖縄県まで18基納入しているプラントメーカーです。 2019年度から、丹波篠山市にて自社の運営する植物工場により、一日あたり1.3トンのレタスを栽培し、コンビニを始め大手外食企業に出荷しています。野菜の色、味覚、形状、重量、栄養価などをチューニングして、顧客の求める野菜造りを行っています。</p>
<p>ポンズ</p> 	<p>【学生起業家】 田中 愛乃 福田 奈津実</p>	<p>私たちは規格外や余剰生産などの理由から廃棄されている野菜苗を、SDGsを学ぶことができる「もったい苗」として活用しています。電通×TV東京によるChange Maker u-18未来を変える高校生日本一決定戦では、優勝・農林水産省大臣官房技術総括審議官賞を受賞しました。現在は、小学校やNPO団体などに販売を行っています。</p>